

全国地方競馬主催者状況調べ

資料 2

(単位：百万円)

主催者		石川県		金沢市		北海道		帯広市		岩手県競馬組合			
一部事務組合構成団体										岩手県、盛岡市、奥州市			
単年度収支	平成20年度	65		1		▲463		▲29		54			
	平成21年度	▲72		6		▲307		▲97		▲65			
累積赤字(平成20年度末)		0		0		▲23,946		平成18年度末、累積赤字39億円となり、市での存続を断念。平成19年度から運営をオッズパーク・ばんえい・マネジメント(株)に引継いだ。		▲32,954			
基金積立残高(平成20年度末)		2,138		315		0		192		138			
存廃に係る考え方又は基準		<ul style="list-style-type: none"> 黒字化が前提であり、目標達成が困難と見込まれ、将来にわたって明るい見通しが立たないと判断される場合には、廃止すべき。 税金を投入することは、県民・市民の理解を得られ難い。 		(平成20年度から赤字を縮小していき、H22年度で単年度収支が均衡する見通しを得ること)		なし		(オッズパーク・ばんえい・ばんえい・マネジメント(株)と帯広市との間で、包括委託契約を締結)		毎年度黒字又は収支均衡 単年度収支が赤字になれば即廃止 (年度途中で赤字傾向の場合は、歳出削減等各種改善策を実施し、収支均衡を目指す。)			
今年度の動向				【現状】 今年度も▲6千5百万円の赤字の見込みだが、知事は、国内唯一の産地競馬として、競走馬の供給基地の役割も果たしており・・・等総合的に勘案し、議会で来年度以降の存続を表明。 その後の記者会見で、「5年以上の存続」を想定した中長期的なビジョンを年度内に策定することを示した。						【経費削減】 平成22年度7月に3億1千万円、9月に8千万円強のコスト調整を実施。 年度途中の9月から、①1着馬の賞金を10%減額し、②馬主に支払う出走手当を1頭当たり1~2千円引き下げた(削減効果▲3千万円弱)。 【第三者機関の年内設置】 外部有識者らで構成する第三者機関を新たに設置し、民間ノウハウの導入や、増収策などについて協議する。			
使用競馬場		金沢		門別		帯広		盛岡		水沢			
敷地	区分	所有		借上げ		借上げ		借上げ		所有			
	所有者	石川県		ホッカイドウ競馬振興(株)		十勝農業協同組合連合会		岩手県競馬組合					
施設	区分	所有		借上げ		借上げ		借上げ		所有		一部所有	一部借上げ
	所有者	石川県		北海道軽種馬振興公社		十勝農業協同組合連合会		岩手県競馬組合	岩手県競馬組合	個人合計103名			

(単位：百万円)

主催者		埼玉県浦和競馬組合		千葉県競馬組合		特別区競馬組合		神奈川県川崎競馬組合	
一部事務組合構成団体		埼玉県、さいたま市		千葉県、船橋市、習志野市		東京都の特別区23区		神奈川県、川崎市	
単年度収支	平成20年度	1,116		643		206		739	
	平成21年度	397		▲48		▲412		285	
累積赤字(平成20年度末)		▲253		0		0		▲919	
基金積立残高(平成20年度末)		548		400		0		180	
存廃に係る考え方又は基準		なし		なし		なし		なし	
今年度の動向									
使用競馬場		浦和		船橋		大井		川崎	
敷地	区分	一部構成団体 所有	借上げ	借上げ		一部所有	一部借地	借上げ	
	所有者	埼玉県、 さいたま市	国、民間3社、 個人5人	(株)よみうりランド		特別区競馬組合	東京都競馬(株)	(株)よみうりランド	
施設	区分	所有		一部借上げ	一部構成団体 所有	借上げ		借上げ	
	所有者	埼玉県浦和競馬組合		(株)よみうり ランド	習志野市	東京都競馬(株)		(株)よみうりランド	

(単位：百万円)

主催者		岐阜県地方競馬組合			愛知県競馬組合		兵庫県競馬組合			
一部事務組合構成団体		岐阜県、笠松町、岐南町			愛知県、名古屋市、豊明市		兵庫県、尼崎市、姫路市			
単年度収支	平成20年度	190			151		113			
	平成21年度	▲145			▲228 (累積赤字含む) ▲78 (実質収支)		11			
累積赤字(平成20年度末)		0			▲3,698		0			
基金積立残高(平成20年度末)		591			423		363			
存廃に係る考え方又は基準		構成団体間で税金投入はしない旨、取り決め。			構成団体間で税金投入はしない旨、取り決め。		存廃判断期間：単年度収支の赤字発生年度から5年間 ①5年間の単年度収支累積額が黒字 → 存続 ②5年間の単年度収支累積額が赤字 → 第三者機関を設置し判断 ③5年間の単年度収支累積額の赤字が解消困難なほど多額 → 廃止 ④5年間の途中で多額の赤字が見込まれる場合 → 第三者機関を設置し判断			
今年度の動向		<p>【現状】</p> <p>① 今年度は▲1億円の赤字が見込まれるが、赤字補填財源の基金は6千5百万円しかない状況。基金5億2千万円のうち用途の決まっている4億5千万円の取崩しには否定的。(シアター恵那施設整備費4億2千万、従業員離職慰労基金3千万)</p> <p>② 古田岐阜県知事(H22.10.7、8 県議会答弁) 「本年度末を待たずしてぎりぎりの決断をしなければならぬ極めて危機的な状況。税金投入はしない。税金を投入しながら競馬を続けるような判断は、・・・到底出来ない。」</p> <p>③ 11/8の運営推進協議会で存廃を含めた議論開始予定。</p>					<p>【現状】</p> <p>猛暑による客足の伸び悩みで5年ぶりの赤字転落の恐れ。</p>			
使用競馬場		笠松			名古屋		園田		姫路	
敷地	区分	所有	一部構成団体所有	借上げ	所有	一部所有	一部構成団体所有	一部所有	一部構成団体所有	一部借上げ
	所有者	岐阜県地方競馬組合	岐南町	個人	愛知県競馬組合	兵庫県競馬組合	兵庫県	兵庫県競馬組合	兵庫県	私有地(1人)
施設	区分	所有			所有	一部所有	一部構成団体所有	一部所有	一部構成団体所有	
	所有者	岐阜県地方競馬組合			愛知県競馬組合	兵庫県競馬組合	兵庫県	兵庫県競馬組合	兵庫県	

(単位：百万円)

主催者		福山市	高知県競馬組合	佐賀県競馬組合		荒尾競馬組合		
一部事務組合構成団体			高知県、高知市	佐賀県、鳥栖市		熊本県、荒尾市		
単年度収支	平成20年度	▲42	▲22	72		▲85		
	平成21年度	▲108	▲124	▲12		▲45		
累積赤字(平成20年度末)		▲2,014	▲1,835	▲19		▲1,357		
基金積立残高(平成20年度末)		734	99	0		0		
存廃に係る考え方又は基準		【外部委員会が福山市長へ答申 (平成22年9月 福山市営競馬検討委員会)】 事業運営の基本や競馬事業を取り巻く環境等を客観的・総合的に考えると、継続することは困難であり、現状においてはできるだけ速やかに廃止すべき。	単年度収支が赤字の場合廃止	なし		平成21～23年度の収支状況及び将来見通しを見て判断。ただし、改善の見込みが困難と判断した場合は、期間内であっても廃止		
今年度の動向		平成23年度当初予算における賞典奨励費の水準をさらに引き下げなければ、明らかに「実質単年度収支の確保」が困難であると見込まれる場合には、年度途中であっても速やかに廃止すべき。	【賞金手当の見直し】 平成22年度 出走手当増額 (7月～ 2.7万円→3.2万円) (参考) 平成20年度 出走手当減額 (3万→2.7万円)			【賞金手当のカット】 平成22年度は約▲1億円の赤字の見通しとなったため、年度途中の8月から馬主に支払う出走手当を1頭あたり1万5千円引き下げた(削減効果▲6千万円弱)。		
使用競馬場		福山	高知	佐賀		荒尾		
敷地	区分	所有	構成団体所有	一部所有	一部借上げ	一部所有	一部構成団体所有	一部借上げ
	所有者	福山市	高知県、高知市	佐賀県競馬組合	個人1人	荒尾競馬組合	荒尾市	個人
施設	区分	所有	借上げ	所有		所有		
	所有者	福山市	(財)高知県競馬施設公社	佐賀県競馬組合		荒尾競馬組合		